

第3学年音楽科学習指導案

指導者 小林 美佳

1. 指導内容 現行指導要領：B鑑賞（1）イ，ウ，〔共通事項〕（1）ア（音色・旋律）
新指導要領：B鑑賞（1）ア（ウ），イ（ウ），〔共通事項〕（1）

2. 題材名 我が国や諸外国の伝統音楽や芸能から、多様な音楽のよさを味わおう

3. 題材設定の理由

本題材では、我が国や諸外国の伝統音楽や芸能の鑑賞を通して、それぞれの共通性や固有性を理解し、多様な音楽のよさや美しさを味わうことを目指している。3年生はこれまで我が国の伝統音楽を教材とした授業に継続して取り組んできた。1年生では長唄の歌唱について学び、特徴的な表声と西洋の頭声発声について比較し、実際に歌唱する活動を行った。2年生の前期には、三味線の特徴と基礎的な奏法を学び、音色の特徴について聴き取るとともに、長唄と合わせて歌唱する活動を行った。後期には、歌舞伎の鑑賞を通して、三味線音楽の特徴を聴き取り、我が国の伝統音楽のよさについて自分の言葉でまとめる活動を行った。これらの活動の中で、生徒は我が国の伝統音楽のよさや面白さなどを感じ取ってきた。

今回の授業では、総合芸術と言われる芸能を鑑賞し、それぞれの特徴を比較することで、共通性や固有性に気付くとともに、よさや面白さを味わう活動を行う。3年生は4月に行われた修学旅行で、狂言を鑑賞している。その後の授業では能の鑑賞も行った。歌舞伎、能楽、そして今回学習する文楽を加えて、3つの伝統芸能での比較鑑賞を行いたい。これらの芸能はそれぞれ固有の魅力をもっているが、同じ我が国の伝統芸能としての共通点も多く見られる。演奏される音楽や使われる楽器などの音楽面から、衣装や舞台、小道具などの演出面まで、さまざまな角度から鑑賞させることで、生徒に多くの発見をさせたいと考えている。

次に西洋の総合芸術であるオペラの鑑賞を行う。華やかなオーケストラと合唱、たくさんの登場人物や大規模な舞台装置は、我が国の伝統芸能とはひと味違った魅力を感じさせてくれる。1年生の時に学習した西洋の発声と長唄の発声の違いを思い出させ、音楽的な面を中心に我が国の伝統芸能と比較させていきたい。生徒はこれまでの学習で得た力を生かし、それぞれの違いだけでなく、意外な共通性も発見できるのではないかと考えている。本題材では、多様な音楽のよさを味わうことを目的としているため、どちらがよい悪い、好きか嫌いかという表面的な感想で終わらないように工夫していきたい。

3年間を通して学んできた我が国の伝統音楽の魅力を改めて感じるとともに、自分の言葉でそれを伝えられるように指導していきたい。能楽・文楽・歌舞伎といった我が国の伝統芸能や、オペラなどの西洋の芸能どちらにも関心を持ち、実際に劇場で鑑賞したいと感じる生徒が増えることを期待したい。

4. 全体研究との関わりについて

全体研究では平成29年度から、『新たな世界を主体的に創造する生徒の育成～「見方・考え方」を働かせた学びを通して～』という主題のもと、研究を進めてきた。昨年度は副題を～「資質・能力」を見取る評価の在り方～として、そして今年度は～教科横断的な教育課程の実現に向けて～として、さらに研究を深めてきた。

これを受けて音楽科では、今年度の研究の重点を次のように設定した。

- 第3学年での授業実践を行うことで、3年間を系統立てた「我が国の伝統音楽」を教材とした授業についてのまとめを行う。
- 様々な「我が国の伝統音楽」を教材とし、生徒がこれまで高めてきた聴く力を生かし、それぞれの違いや共通点などを学ぶことを通して、思考力・判断力・表現力をより高めることのできるような題材設定を行う。
- 我が国の伝統音楽を教材とした授業の評価の在り方について、あらかじめ教師が具体的な生徒の姿を想定し、観察のポイントを明確にするなど、よりよい方策を検討していく。

※本校音楽科で高めたい「聴く力」とは

音楽を聴いて強弱や速度などの要素を知覚したり、それらの働きによって生み出される特質や雰囲気を感じたりする力だけでなく、自ら価値判断し、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる力などを総合して定義している。

(1) 音楽科で身につけさせたい資質・能力について

新学習指導要領では、全ての教科・領域等において「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で資質・能力の育成を目指すことが示された。本校の音楽科では、三つの柱の中でも特に「思考力、判断力、表現力等」を高めることを研究の目的としている。「思考力、判断力、表現力等」は、それ単独で高められるものではなく、他の二つの柱と密接に関わりあっている。生徒が既存の知識や技能を活用して音楽活動を行う中で、さらに新たな知識や技能を得ることや、意欲的に音楽活動に取り組むことで豊かな情操を養ったり、感性を高めたりすることが「思考力、判断力、表現力等」を高めることにもつながっていると考えている。

また、これらの資質・能力は、昨年度の全体研究で重視していた「音楽的な見方・考え方」とも関連している。新学習指導要領解説では、音楽的な見方・考え方を「音楽科の特質に応じた、物事を捉える視点や考え方であり、音楽科を学ぶ本質的な意義の中核をなすもの」として次のように示している。

【中学校音楽科】

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。

このことから本校音楽科では、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、「思考力、判断力、表現力等」を高める授業の構成を目指していく。その方策として、「我が国の伝統音楽」を教材とし、聴取活動による音楽的な感受の場면을効果的に取り入れることで、生徒に音楽の多様性を理解させるとともに、自分たちで音楽表現を創意工夫できる力を身につけさせたいと考えている。

(2) 資質・能力を見取るための工夫

本題材では、B鑑賞の授業を構成することから、現行の学習指導要領では「音楽への関心・意欲・態度」「鑑賞の能力」の2観点での評価となる。今回の授業では、新学習指導要領における3観点での評価も視野に入れて、見取りの工夫を行っていきたい。※具体的な評価規準については、「7. 題材の評価規準」参照。

具体的な見取り方に関しては、これまで行ってきた方策を整理し、まとめていきたいと考えている。4月から行っている「振り返りシート」を使った評価については、継続していきたい。「振り返りシート」の活用によって、生徒が記述に要する時間を短縮し、実技にかける時間を増やすことができた。また、生徒自身が前時までの授業内容や感じたことなどを思い出すことができ、教師も生徒の状況を把握することができる。歌唱・鑑賞・器楽と、どの内容の授業でも同じ形式で使用することも利点である。教師は生徒の感想でよかった箇所に線を引いたり、理解していないことについては訂正のコメントを入れたりして返却している。そのため、生徒が「振り返りシート」に質問を書いてくることも増えた。そのほかにも、授業の内容を余白にメモしていたり、授業内での仲間の発言を色を変えて書き留めていたり、生徒自身が使いやすいように工夫する姿が見られている。今後は、感じたことの欄に書かせる内容を明確にするなど、より詳しく生徒の資質・能力の見取りができるように考えていきたい。

映像や音声を使った見取りについても、工夫していきたい。振り返りシートやワークシートだけでは見取りきれない生徒のつぶやきや、表情の変化、会話の様子などは、映像や音声で残すことが有効であると考えられる。しかし、毎時間の授業を撮影・録音することは現実的ではない。題材の中で最もポイントとなる時間や場面に限定し、記録を撮ることが必要であると考えている。

(3) 教科横断的な教育課程の編成について

全体研究3年目では、総合的な学習の時間（本校での呼び名はSELF）をはじめ、他教科等との連携を視野に入れた授業づくりを考えている。年間指導計画にも、SELFとの関連を明記することとした。昨年度の2年生の授業では、総合的な学習の時間（本校での呼び名はSELF）と関連付けた授業を構成した。2年生では「日本の伝統文化と私たち」というテーマで課題探究学習を行っていた。12月には、生徒の探究活動と歌舞伎の鑑賞の授業が並行して行われていたことで、歌舞伎を探究している生徒が得た知識を音楽の授業で披露したり、探究で生まれた疑問点を解消したりする姿が見られた。今回の授業でも、SELFの情報分析に利用した方法を使って、比較鑑賞した伝統音楽の分析を行う場面を設定している。SELFと音楽科の授業で相互に影響を与え、生徒の関心・意欲をさらに高めていきたい。

5. 教材について

(1) 教材

- 【聴取教材】
- ・長唄『勸進帳』より「延年の舞」 四世杵屋六三郎 作曲
 - ・義太夫『義経千本桜』より「道行初音旅」
「二段目 大物浦の段」 二世竹田出雲 他 合作
 - ・謡『羽衣』より「東遊びの数々に」 作者不詳
 - ・オペラ『アイダ』より「エジプトとイシスの神に栄光あれ」 ヴェルディ作曲
- 【鑑賞教材】
- ・歌舞伎『勸進帳』より
 - ・能『安宅』より
 - ・文楽『勸進帳』より
 - ・オペラ『アイダ』より 第2幕第2場

(2) 教材選択の理由

本題材では、さまざまな音楽や芸能の鑑賞を通して、多様な音楽のよさを味わうことを目指している。そのため、我が国の伝統音楽に関しては、その共通性や固有性を理解しやすい教材を選択するようにした。昨年度の歌舞伎では、長唄・義太夫・常磐津・清元の4種類の三味線音楽を聴取し、『勸進帳』の鑑賞を行った。また、能楽では『羽衣』を鑑賞するとともに、謡と囃子の響きを聴取している。

これを受けて今回の授業では、まず文楽の聴取教材として、『義経千本桜』より「大物浦の段」の義太夫の語り（「さらば、さらばも声ばかり～」の部分）を選択した。教科書で扱われている教材であるが、太夫の語りと太棹三味線の音色が義太夫独特の魅力をわかりやすく伝えており、昨年度の学習を踏まえて生徒がその特徴を聴き取りやすいと考えた。

3時間目の鑑賞では、能・文楽・歌舞伎の共通性や固有性を理解させるために、同じ演目を教材とした。能『安宅』は、その後歌舞伎『勸進帳』へとつながり、さらに歌舞伎から文楽『勸進帳』が生まれている。同じ場面を異なる芸能で鑑賞することで、より共通性や固有性が明確になると考えた。

鑑賞するのは、歌舞伎『勸進帳』では「折檻～詰合い」と呼ばれる場面である。一度は通行を許可された義経一行だが、番卒の訴えで義経の正体が見破られそうになる。そこで弁慶が主君である義経を打ち付け、それでも「通行させない」という富樫とにらみ合いになる、という緊迫した場面である。歌舞伎・能・文楽ともにほぼ同じ流れで物語が進むが、演出の違いや音楽のつかわれ方など、それぞれの芸能の特徴が表れている。生徒にとっては比較しやすく、また興味深く鑑賞できる場面であると考え、設定した。

これらの伝統芸能と比較鑑賞する教材としては、オペラ『アイダ』を選択した。こちらも教科書で扱われているが、ヴェルディ作曲の数々の名曲にのせ、壮大な舞台や人間味あふれる登場人物など、オペラの魅力が詰まった教材と言える。鑑賞するのは第2幕・第2場で、最も華やかでオペラの特徴を捉えやすい場面である。我が国と西洋の総合芸術を比較するために適した教材であると考え、選択した。

6. 題材の目標

- ・我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。
- ・音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- ・音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- ・我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

7. 題材の評価規準

【4 観点】

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
① 我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する活動に主体的に取り組もうとしている。	① 音色、旋律を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して鑑賞している。
② 我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する活動に主体的に取り組もうとしている。	② 音色、旋律を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりしながら、よさや美しさを味わって聴いている。

【3 観点】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	①音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ②音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	①我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

※基本的には、現行の「関心・意欲・態度」と「鑑賞の能力」での評価を、どのように3観点に移行するかを考え、設定している。音楽科では、知識と技能は必ずしも同じ場面で評価できるとは限らない。そのため、知識を見取る文章と技能を見取る文章をそれぞれ記述することとなる。また、鑑賞の授業においては「技能」の評価規準は設定しない。今回の授業では、現行の「関心・意欲・態度」を「知識」と「主体的に学習に取り組む態度」に、「鑑賞の能力」を「知識」と「思考・判断・表現」にそれぞれ移行する形で設定した。

8. 指導計画と評価計画 (6時間)

ねらい	時	学習活動	評価規準 【評価方法】			☆Aと判断する生徒の状況例 ■個別な働きかけを要する生徒への支援
			知	思	態	
文楽について学び、義太夫節の特徴について確認する。	1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・義太夫の演奏を聴き、昨年度学んだ長唄との違いや特徴を確認する。 ・文楽『義経千本桜』より「道行初音旅」を鑑賞し、感じたことを意見交換する。 ・文楽の成り立ちや三業一体などの基礎的な知識を学ぶ。 	① (関①) 【観察】			<p>☆義太夫の特徴を理解して、歌舞伎との違いを感じ取りながら、文楽を鑑賞する活動に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>■義太夫の特徴がわからない生徒には、昨年度の振り返りシートの記述を読み返し、義太夫の特徴を思い出させる。ワークシートを使って、文楽の基本的な知識を確認する。</p>
文楽を鑑賞し、魅力について自分の言葉でまとめる。	2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・文楽の特徴について確認する。 ・文楽『義経千本桜』より「大物浦の段」を鑑賞し、感想を記入する。 ・文楽の魅力について、自分の言葉でまとめ、仲間と意見交換する。 		① (鑑①) 【観察・ワークシート】		<p>☆意欲的に意見交換したり、自分の考えを整理しながら鑑賞文を書いている。</p> <p>■文楽の特徴やよさをまとめられない生徒には、教科書とワークシートを参考に文楽との違いを整理させ、箇条書きで書いてから、鑑賞文を記述させる。</p>

<p>能楽・文楽・歌舞伎を比較鑑賞し、それぞれのよさや特徴について意見交換するとともに、「我が国の伝統音楽」の魅力をもとめる。</p>	<p>3時間目 (本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに学習した3つの伝統芸能について振り返る。 ・ 歌舞伎『勧進帳』、文楽『勧進帳』、能『安宅』の一場面をそれぞれ鑑賞する。 ・ 3つの伝統芸能を比較して、共通性や固有性について考え、意見交換する。 ・ 「我が国の伝統音楽」の魅力についてまとめる。 		<p>② (鑑②) 【観察・ワークシート】</p>	<p>☆学んだ知識を生かして比較鑑賞し、感想を書いたり、仲間と意見交換したりしている。3つの芸能の違いや共通点をわかりやすく自分の言葉でまとめている。</p> <p>■映像と学んだ知識を関連付けられない生徒には、映像の途中で教師が解説を入れてそれぞれの特徴を確認させる。仲間の意見を参考にして、文章にまとめさせる。</p>
<p>オペラについて学び、その音楽の特徴について考える。</p>	<p>4時間目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『アイダ』より「エジプトとイシスの神に栄光あれ」を聴き、感じたことを意見交換する。 ・ オペラやヴェルディについて学ぶ。 ・ オペラの音楽について学び、実際にコーラスを体験して感じたことを意見交換する。 	<p>① (関①) 【観察】</p>		<p>☆オペラの音楽に関心を持ち、積極的に歌唱したり、仲間と意見交換したりしている。</p> <p>■オペラの音楽に関心をもてない生徒には、教科書の写真を見てイメージを膨らませたり、仲間と歌唱したりすることで、ハーモニーの美しさを体感させる。</p>
<p>よさや美しさを味わいながら、オペラを鑑賞する。</p>	<p>5時間目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の振り返りをする。 ・ 『アイダ』の第2幕第2場を鑑賞し、感じたことを意見交換する。 ・ オペラのよさや美しさ、魅力について自分の言葉でまとめる。 		<p>① (鑑②) 【観察・ワークシート】</p>	<p>☆映像を観ながら、オペラの魅力について考えたり、仲間と意見交換したりしている。</p> <p>■オペラの魅力について考えられない生徒には、仲間の意見を参考にさせたり、鑑賞の途中で教師が解説を入れたりする。</p>

我が国の伝統音楽とオペラを比較し、音楽の多様性を理解し、それぞれのよさや美しさを味わって鑑賞する。	6時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・3時間目に考えた「我が国の伝統音楽」の魅力について振り返る。 ・能楽、文楽、歌舞伎とオペラを比較し、それぞれの共通性や固有性について考え、意見交換する。 ・我が国や諸外国の音楽の特徴から、音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わって鑑賞する。 		② (鑑②) 【ワークシート】	① (関②) 【観察・ワークシート】	<p>☆それぞれの音楽や芸能の共通性や固有性に気づき、仲間と意見交換したり、自分の言葉でまとめたりしている。</p> <p>■それぞれの音楽や芸能の共通性や固有性に気づけない生徒には、これまでの振り返りシートの記述を読み返し、特徴を再確認させる。仲間の意見を参考にして、箇条書きで書き出してから文章を記述させる。</p>
---	------	--	--	-----------------	--------------------	--

9. 本時の授業について

(1) 日時 令和元年6月29日(土) 11:10~12:00

(2) 場所 山梨大学教育学部附属中学校 第1音楽室

(3) 本時の目標

音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

(4) 展開

過程	学習のねらいと学習活動	教師の指導・支援	評価・備考
導入 (10分)	<p>1. これまでに学習した、我が国の伝統芸能とその特徴について、確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきた「歌舞伎」「能楽」「文楽」について、どのような特徴があったか、確認する。 ・音楽面での特徴について、復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎については昨年度学習した内容のため、簡単に内容を思い出させる。 ・能楽と文楽については、前回までの振り返りシートを参照させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 一斉
展開 (30分)	<p>2. 能楽『安宅』、文楽『勸進帳』、歌舞伎『勸進帳』の一部を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの芸能のほぼ同じ場面(折檻~詰合い)を鑑賞する。 ・それぞれの特徴や、似ている部分について考えながら鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に鑑賞するときは、ワークシートは配布せず、振り返りシートに気づいたことをメモさせる。 ・鑑賞する順番は、歌舞伎・文楽・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 一斉 思②音色、旋律

	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの感想を、周りの仲間と意見交換する。 <p>3. 3つの芸能の特徴を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベン図や表などを使って、それぞれの共通点や相違点、気付いたことなどをまとめる。 ・周りの仲間と意見交換する。 <p>4. 全体で意見を共有し、それぞれの共通性や固有性についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに自分の考えを記入する。 ・周りの仲間や学級全体で意見交換する。 	<p>能とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ同じ場面を鑑賞することで、共通点や相違点に気付かせる。 ・歌舞伎については昨年度鑑賞している場面なので、内容を思い出させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・違いだけにとらわれず、共通点も見つけるよう促す。 ・それぞれの芸能が関わり合っていることに気付かせる。 ・演出面のみでなく、音楽面についても比較するよう促す。 ・意見を交換することで、音楽の多様性を理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの共通性や固有性についてまとめたうえで、多様な音楽のよさや美しさについて考えさせる。 ・生徒から出た意見をもとに、教師がコーディネーター役をする。 	<p>を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>(鑑②音色、旋律、強弱を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりしながら、よさや美しさを味わって聴いている。)</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>5. 学習のまとめとして、「我が国の伝統音楽」の魅力をもとに、自分のことばでまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの我が国の伝統音楽の学習を振り返り、感じたことを振り返りシートに記入する。 ・今日の授業について感じたことなどを意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統芸能それぞれが関わり合っていることや、独特のよさがあることを確認する。 ・まとめの文章については、時間内に終わらなければ、持ち帰りも可とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 一斉